

上手に使おう 横浜の水
～健康と豊かな暮らしは 蛇口から～

横浜水道中期経営計画(令和6年度～9年度)を策定しました！

水道局では、令和6年度からの新たな4か年の経営計画である「横浜水道中期経営計画（令和6年度～9年度）」を策定しました。本計画は、平成28（2016）年3月に策定した「横浜水道長期ビジョン」に掲げる、市民や事業者の皆様と共有すべき将来像を具体化するための実施計画であり、第1期計画、第2期計画に続く第3期計画となります。

1 計画で目指す姿（冊子 P20）

将来を見据えた水道システム再構築などによる「施設の最適化」、効率的・効果的な執行体制の構築や業務効率化による「運営体制の最適化」など、「水道事業の最適化」に向けて事業を推進し、持続可能な事業運営を目指します。



2 主要事業（例）（冊子 P28～）

○主要事業3 水質管理体制の維持・強化【拡充】（冊子 P33）

- ・ 新たな水質リスクである有機フッ素化合物（PFOS・PF0A など）について、近隣水道事業体と連携した汚染の実態把握や、測定回数を増やすなど測定体制の強化を図ります。

○主要事業4 西谷浄水場の再整備（冊子 P34）

- ・ 西谷浄水場の再整備について、浄水処理施設と排水処理施設の整備では、ろ過池と排水池の耐震化や粒状活性炭処理の導入に向けて、引き続き事業を進めます。

○主要事業8 送配水管の更新・耐震化（冊子 P44）

- ・ 送配水管約9,300kmを順次、更新・耐震化していきます。中でも、鑄鉄管（CIP）、送配水本管（主に400mm以上）、重要拠点施設につながる管路の更新・耐震化に重点的に取り組みます。

○主要事業19 太陽光発電設備等の導入促進【拡充】（冊子 P63）

- ・ 設置可能な水道局施設を対象に太陽光発電設備を100%導入するため、導入拡大を検討します。

○主要事業34 小雀浄水場の廃止に向けた計画の策定【新規】（冊子 P95）

- ・ 小雀浄水場について、更新に多額の費用を要することや導水に要するエネルギー消費が大きいこと等を踏まえ、令和22（2040）年度を目途に廃止します。廃止に向けて必要となる施設整備や既存施設の撤去等の取組をとりまとめた計画を策定します。
- ・ なお、小雀浄水場廃止後も、敷地内にある既存の配水池は安定給水のため継続して使用します。

○主要事業35 水道事業におけるICT活用・DX推進【拡充】（冊子 P96）

- ・ 水道施設の維持管理や技術継承、事務事業等の効率的・効果的な実施に向け、ICT活用・DX推進に取り組みます。

※【新規】：新規の事業・取組 【拡充】：令和5年度までに事業化されており、内容を拡充する事業・取組

【冊子及び概要版の閲覧】

横浜市ウェブページからご覧いただけます。

検索 横浜水道 中期計画

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/org/suido/sonota/keikaku/tyuukikeieikeikaku2.html>

※冊子には、水道事業及び工業用水道事業の事業や取組の詳細、想定事業量、財政収支計画等を掲載しています。

※各区役所、市民情報センター（横浜市庁舎3階）、各水道事務所等で、冊子の閲覧が可能です。

※市民意見募集の結果についても、上記 URL で公表しています。



お問合せ先

水道局経営企画課長 森兼 孝司 TEL 045-671-3119